

公表:令和 5 年 3 月 31 日

事業所名 オレンジ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	② 職員の配置数は適切であるか	○				
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○				玄関等の段差やお手洗い・洗面所などは体格や筋力などに配慮し個々に足台や台を設置しております
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			絵本やおもちゃ床や壁を使用毎に消毒しております	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		月に1回ケース会議、全体会議にて情報共有を行いPDCAサイクルを実施	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				保護者会の内容や時期についてご指摘をいただきました。新年度より変更いたしました。年間スケジュールにてご確認ください
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		ケース会議や全体会議にて事例を通し職員間で具体的な支援の方法を学んでいます	
適切な 支援の 提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか		○			ケース会議・支援後に職員間で情報共有などを行っているが共有までに時間がかかる、内容の正確さに課題がある
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				
	⑭	活プログラムの立案をチームで行っているか	○			2クラスに分け、クラス担当を決め日案を作成し行っています	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			各クラス複数担当者が交代で日案を作成しております	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		連絡ノート、送迎表に全ての情報を記載し共有し必要性の高い所は口頭にて打ち合わせを行っています	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		可能な限り打ち合わせをしますが退勤時間が異なる為連絡ノート、送迎表に必要事項を記入し共有しています	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			各クラスの日案、個人記録を残しております	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○				
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				必要に応じ電話・書面にて情報共有を行っております
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか					上記内容と同じ
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○		
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		保護者様の困り感やお子様の状況などを把握し、お子様の性格や特性を考慮し支援しております	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			年2回の保護者会を実施しておりますが、今後はアンケートを依頼し保護者様が希望している会を盛り込めるよう検討していきたい
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			職員→児発管→管理者の順に情報伝達を行い当日中に連絡するよう心掛けております	情報伝達に時間がかかる場合は、状況を伝えいつ連絡ができるのか保護者様にお伝えしております
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月1回オレンジ日より年度末に於いて年間行事を発行しております	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			コロナ流行前はオレンジ祭り開催時地域の方々が参加していたため今年度より検討したい
非常時等の対応	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○				
	④③	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	④④	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○				契約時、年度変わりにフェイスシート・緊急連絡先を記載して頂いております

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○				
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○			職員間の連絡ノート・全体会議にて共有しております
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○			
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○				契約時、事例を出し説明。身体拘束を行う際は事前に保護者様や相談機関において検討し支援計画に記載しております。また、身体拘束を行った際は必ず保護者様に背景・拘束時間を伝えし合わせて職員間で情報共有をおこなっています

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。